令和元年第５回大仙市教育委員会定例会議事録

令和元年第５回大仙市教育委員会定例会を令和元年５月２０日（月）午後３時３０分から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴　木　直　樹
　　中　島　　康
　　髙　見　文　子

説明員

教育指導部長	佐　藤　英　樹
生涯学習部長	安　達　成　年
教育総務課長	田　口　広　龍
教育指導課長	島　田　　智
学校給食総合センター所長	俵　谷　憲　朗
生涯学習課長	大　沼　利　樹
文化財保護課長	熊　谷　直　栄
スポーツ振興課参事	鈴　木　貴　博
総合図書館長	岡　田　久美子
総合市民会館長	品　川　雄　喜
花火伝統文化継承資料館長	竹　村　宏　之
教育研究所長	櫻　田　　武
花館公民館主査	三　浦　嘉　和
神岡中央公民館長	藤　井　良　子
西仙北中央公民館参事	森　　良　悦
中仙公民館長	髙　橋　千　秋
協和公民館長	今　　辻　子
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	小　松　暢　子
太田公民館長	黒　澤　伸　朗

書記

教育総務課主幹　　小　松　和　範

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、工藤委員から欠席の届出がございました。ただし、定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に小松主幹を指名いたします。

ただいまから、第５回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

１０連休となった長いゴールデンウィークも、大きな事故等もなく、令和の時代最初の学校生活がスタートしております。それでは、資料の１ページを御覧ください。

最初に学校教育関係ですが、今年もスポーツ・文化で活躍されている方々を招いての「こころのプロジェクト『夢の教室』」が始まりました。５月は４日間にわたって、スポーツと図工バージョンの実技や講話が行われます。今年は、ボブスレーとサッカーで活躍された選手、そして図工バージョンでは、今年も男鹿市在住の画家小山内愛美（おさないめぐみ）さんによる教室が開催され、スポーツや美術の素晴らしさを体感し、子供たちの夢も膨らむと思います。

なお、資料には間に合いませんでしたが、今日の報道に全県の中学校春季大会の結果が出ておりました。団体で大仙市内の多くの学校が優勝しております。バドミントンの男子と女子で大曲中学校が、バレーボール女子で仙北中学校が、サッカーで大曲中学校が、卓球女子でも大曲中学校が、野球で平和中学校が見事優勝しております。夏の総体での更なる活躍を期待したいと思います。

研修関係では、５月１０日に、４回目となります大仙市校種間連携懇談会が開かれました。今回は、キャリア教育ばかりではなく、授業改善に関する幼・小連携と中・高連携をメインに協議され、今後、授業参観や研修会への校種を越えた参加が増えていってもらいたいと思います。また、この連携の効果が１１月の学力向上フォーラムにも反映されればと期待しているところであります。

なお、間もなくですが５月２３日と２４日に富山市で開催される全国都市教育長協議会につきましては、次の教育委員会でその概要等を報告したいと思います。

県外視察関係では、今年は議員の皆様からの行政視察が多く、今月だけで４件あります。

視察された議員の方々は、秋田の学力の高さを改めて認識され、一朝一夕では追いつくことはできないと感じておられたようでした。

次に、社会教育及び文化財、スポーツ関係については、資料のとおりでありますが、２９日に今年度のチャレンジデーが開催されます。前回の教育委員会でもお話しましたが、対戦相手は人口や面積が大仙市と似通っている兵庫県豊岡市です。大仙市の参加は７回目となりますが、昨年の参加率は大仙市９２．４％で、相手の豊岡市は７７．９％でした。令和最初の年が勝利でスタートできるよう、皆様からの参加協力を重ねてよろしくお願いいたします。

児童生徒の安全・安心面では、特に大きな事故等はございませんでした。

以上で私からの報告を終わります。

それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
　それでは、会議資料２ページを御覧ください。
　教育総務課は５項目記載しておりますが、このうち２項目について報告いたします。
　２番の「中仙地域における学校統合に関する市の方針についての説明会」についてですが、先週１３日から１５日にかけて中仙地域の３か所で開催しました。
　市の統合方針を説明した後、意見交換を行いましたが、特に異論はなく一定の理解を得られたものと判断しているところです。
　９月議会に統廃合関係の改正条例案を提案すべく、今後、準備を進めてまいります。
　次に、５番「大仙市議会定例会」が５月２８日から開かれますが、教育委員会関係では補正予算案のほか、「（仮称）大綱交流館」と「大曲武道館」の２件の工事請負契約案を提案する予定です。教育総務課は、以上であります。

吉川教育長
　次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
　教育指導課からは、１１番の教育視察についてお話したいと思います。これまで１０番のような行政視察が４件入っておりましたけれども、これからは学校及び先生方への視察が入ってくる予定で、今月はうるま市教育委員会の方々１５名が来られることになっております。５月２９日は市教育委員会に御来訪いただき、翌３０日には協和小学校と協和中学校を視察されることになっています。また、これを皮切りにたくさんの教育視察がこれから入ってまいります。以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターからは、五つの項目の記載がございますが、そのうち４番目について御説明いたします。今年７月３１日に開催されます「秋田県学校給食研究協議大会大曲仙北大会」の第１回実行委員会が、５月１６日、大曲交流センターにおいて行われました。以上でございます。

吉川教育長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課からは、記載の６項目でございます。そのうち３番目の５月１０日の「高橋優　秋田キャラバンミュージックフェス合同記者会見」については、９月１４日と１５日の２日間、サン・スポーツランド協和野球場にて開催されますミュージックフェスの合同記者会見ということで、老松市長と高橋優さんの二人でミュージックフェスのＰＲを行って

います。記者会見では１２社のメディアが参加し、市長及び高橋優さんが市に対する思いを話されております。本市においても商工団体等を入れたミュージックフェスのサポート会議を開催するなど、官民一体となって来場者を迎え入れる準備を進めているところであります。以上でございます。

吉川教育長
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課は、３件記載しております。
　一つ目は、５月９日に横堀小学校へ職員が赴き、遮光器土偶と星宮遺跡についての出前講座を行っております。各地域の小学校・中学校の御要望があれば、職員が出向いてその提起に合わせたテーマで講座を行いますので、皆様どうぞ御検討ください。
　２番、鈴木空如の作品展が今週末から始まります。太田公民館の職員から御協力いただきまして、文化財保護課の職員とともに準備を進めているところであります。
　また、資料１ページの教育長報告に旧池田氏庭園一般公開開始の記載をしておりましたけれども、今年から初めてゴールデンウィークの公開を開始したところであります。大型連休期間中、１，２００名の御来園をいただいております。なお、同期間中のその他の施設につきまして、払田柵跡が７９４名、角間川旧本郷家住宅が７００名とそれぞれたくさんの方々においでいただきました。以上、御報告いたします。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課参事
　スポーツ振興課所管分につきましては、６項目記載しておりますが、先ほど教育長がおっしゃられた５番のチャレンジデーについて、本年度は５月の最終水曜日である２９日に、市内各地で８０を超えるイベントや事業を開催いたします。今年の対戦自治体は兵庫県豊岡市となっておりますが、昨年の参加率９０％をキープしながら令和元年を勝利で飾りたいと思っております。委員の皆様並びに本日出席の関係課所におかれましても御協力をよろしくお願いいたします。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館では、８項目挙げさせていただいております。２番について説明いたします。秋田県読書活動推進連絡協議会において、昨年度採択を受けました「読書活動推進パートナー支援事業」を活用して購入した図書とブックトラックを、このたびAnbee大曲と大曲厚生医療センターに配置しました。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、４項目記載のとおりであります。３番「MUSIC FESTIVAL DAISEN 2019」につきましては、大仙市出身又は大仙市に縁のある若手アーティスト７組によるコンサートであります。現在、ＦＭはなび等でＰＲをしておりますが、当日券もありますので、是非、足を運んでいただきますようお願いいたします。以上です。

吉川教育長
　次に、花火伝統文化継承資料館長、お願いします。

花火伝統文化継承資料館長
　はなび・アムは、２項目でございます。１番のゴールデンウィーク期間中の営業時間の延長について、通常は午後４時までのところを午後７時まで延長して営業しました。また、観光物産協会の御協力で、物産品の販売も同時に行いました。１０日間で３階と４階の資料館エリアの入込客数につきましては、２，３２４名となっております。延長となった午後４時以降に入館された方は２５１名で、１割強という割合になっています。現在は休みの前日のみ午後６時まで営業しております。入込客数の傾向を検証した上で、今後の運営体制を検討していきたいと考えております。以上です。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館主査
　花館公民館からは、７項目ございますが、記載のとおりであります。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、８項目記載してございます。そのうち５番についてですが、本年度第１回目のおもしろ講座で、講師は秋田市の「はんだかずひこ」先生でした。当初５０名程度の参加を予定しておりましたが、申込数が多かったため、急遽会場を変更して実施したところでございます。以上です。

吉川教育長
　何名くらい参加したものでしょうか。

神岡中央公民館長
　６０名の参加がありました。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館参事
　西仙北中央公民館からは、１０項目記載しております。内容については、主に各団体の理事会・総会等になっています。８番の幼保園長・校長等会議について、今定例会後に開催される予定になっておりますが、西仙北地域の行事及び事業の連携を図ることを目的として年２回ほど開催しております。西仙北中央公民館からは以上です。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館からは、５項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長
　協和公民館は、１１項目記載しております。いずれも各団体の定期的な会議及び総会となっておりますので、御報告いたします。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館は、９項目記載しております。４月に引き続き、各団体の役員会及び総会の開催が多い月であります。内容については、記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館は、８項目記載してございます。５番、暮らしの達人講座１の「園芸講座」について、当初は２０名程度の参加を見込んで準備しておりましたが、募集のお知らせをしたところ、参加の要望が多かったため、定員を３０名に増員して開催することにしております。以上です。

吉川教育長
　最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、８項目記載しております。
　２番についてですが、５月３日の太田黄桜まつりに併せまして、てくてくウォーキングを開催しました。今年は晴天に恵まれまして、約６０名の参加者を迎えて実施することができました。
　次に７番について、明日、太田地区小学校陸上競技交流会の予定でしたが、悪天候が予想されるため、５月２３日に延期となっております。以上です。

吉川教育長
　７番は５月２３日に実施する予定ということであります。
　ちなみに、大曲仙北中学校陸上競技大会が明日から開催される予定でしたが、雨の予報になっているため、１日順延となり、明後日から開催する予定との報告を受けています。
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

吉川教育長
　私が教育長になり４年目となりますが、初めて給食を頂かせてもらいました。米粉パンを使用した給食で大変おいしかったです。普通の米粉パンは米粉の割合が３割ほどのようですが、ここ大仙の場合は市の方で補助して、米粉の割合を５割ほどにしたパンを給食に使用しているとのことで、もちもちして食べ応えのある非常においしいパンでした。私は西部学校給食センターに行きましたが、何か要望があれば学校給食総合センターへお知らせいただければと思います。

髙見委員
　南外中学校の保護者の方々が､連休中にさつまいもを植えるため畑を耕そうとした際に、給食センターに肥料をもらいに行ったという話を聞きました。以前、私がＰＴＡで給食センターを視察した時に、残飯で肥料を作っていると聞き、非常に良い取組だと感じていました。その際に「この肥料を買うことはできますか」と質問したところ「残飯で作っているので、成分が一定でないため商品化はできません」と言われましたが、とても良い取組だと感じた覚えがあります。今回、この話を聞いて改めて質問させてもらいますが、現在は肥料を作っているものなのかと、配布しているとすれば利用できる量はどのくらいになるのか教えていただきたいと思います。

学校給食総合センター所長
　今も残飯を利用した肥料を作っております。ただし、髙見委員のおっしゃられたとおり、残飯の量と成分が一定ではなく、安定して肥料を作ることができないため、肥料が欲しい

時には、御連絡をいただいた上で給食センターに取りに来てもらい、学校の畑や花壇などで御活用いただいております。

吉川教育長
　あまり多くの量の肥料を作ることができないので、希望者が殺到した場合、全ての要望に応えることができないと推測されるため、現状は学校関係のみにしておりますが、余裕があれば他の方にもお渡しできるのではないかと思います。

髙見委員
　非常に良い取組をされていると思っておりますが、このような取組を行っていることを知らない方が多いと思いますので、エコ活動の紹介として発信してはいかがでしょうか。

吉川教育長
　以前、市議会議員の方々から「肥料として販売してみてはどうですか」と言われたことがあります。そのことがあり、肥料を調査してもらったことがあるのですが、やはり成分が一定化しないことと、量も安定的に供給できないため、製品化して一般の方に販売するのは困難であるとの結論になりました。現状では、学校園などで御活用いただくので手一杯という感じがします。
　学校関係でも大曲南中学校区を中心に、以前からエコ活動・環境教育に力を入れておりますので、学校を含めた市内のエコ活動を紹介する機会があれば、その一環としてお知らせしたいと思います。

風登委員
　「学校給食は生きた教材」というタイトルで掲載されていた新聞記事を読みました。その記事には、髙見委員がおっしゃられたような「堆肥肥料化」や「食品ロス」とか地域の活性化につながる「地産地消」など、五つくらいの事例が挙げられていて、それぞれの市町村で学校給食を教材として、上手に取り上げているものだと感心していたところでした。いろいろな切り口があると思いますので、他部署とも連携してうまく活用できればよいのではないかと考えたりしました。以上です。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

風登委員
　文化財保護課長にお伺いします。先ほどゴールデンウィーク期間中の旧池田氏庭園の来園客数を御報告いただきましたが、前回の定例会において、初めてゴールデンウィークから開園するとのことで、庭を片付ける期間が短いため、清掃が十分行き届かなくて苦情が寄せられるおそれがあるという不安をお話されておりましたが、そういうことはあったものでしょうか。

文化財保護課長
　清掃や庭園の状態に対する苦情はありませんでした。窓口で職員が問い合わせを受けたり、アンケートを書いていただいたりして、お客様の声を聞いているのですが、そうした中では庭園の状態に関する苦情はありませんでしたので、来年以降も問題なく開園できるのではないかと思っております。
　ただし、道路の案内看板がちょっと少ないという声が若干ありましたので、それは来年に向けて検討していかなければならないと思います。国土交通省の許可を得て、案内看板を国道１３号に設置しましたが、道路片側に１か所ずつでしたので「看板を見逃した」「看板をよく見れなかった」との意見がありました。そこで、案内看板の手前に予告的な看板を設置することを検討しているところで、来年度の予算要求の時期までに結論を出したいと考えております。

風登委員
　ありがとうございます。
　前回の定例会で、５月２６日に開催される予定の「MUSIC FESTIVAL DAISEN 2019」のチケットを、市内の小・中学校に招待という形で配付したとのお話がありましたが、その後、追加で配付してほしいとの希望はあったものでしょうか。

教育指導部長
　教育指導課が学校の窓口となり、４月中に小学校には１０枚、中学校には２０枚ずつ配付したところであります。追加配付については、随時申し込みを受け付けている旨をお示ししておりましたが、現在のところ申し込みは無い状況です。そこで、先ほど、確認の意味も込めまして、各・小中学校宛てに一斉メールを送信したところであります。

風登委員
　せっかくの機会ですので、学校の方でも働きかけて積極的に活用していただければと感じたところです。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　今回は、付議案件はございませんので、次第の４番その他に入らせていただきます。
　皆様から何かございませんか。

鈴木委員
　私は、大仙市の教育メソッドが大変素晴らしいと思っておりまして、学校訪問の際にも

生徒と先生の関係や授業の内容を見て、とても質が高く素晴らしいものだと感心しておりました。

先日、テレビで東京のある中学校の授業方法が紹介されておりました。その中学校では校長先生の主導の下、生徒にタブレット端末を貸与し、それを活用して生徒自身が自分のペースで授業を進めることができるような体制を構築して、生徒が自分の力で一つ一つ乗り越えていくことで、やる気を出させて、自ら勉強させていくという方針を打ち出していました。周りの人が進んでるからとか、競争させるとかそういうことは一切なく、自分の意識と自覚だけで成績を上げていくという内容であったと思います。

それはここの授業とはまったく対極的なやり方で、面白い取組だと思いました。ここの学校での教育というのは友達との関係とか、いろんな道徳的なことも含めて、地域とのつながりなど多面的に物事を教えているので、本当に豊かな感じはするんですけど、その東京の授業の一点のところだけを見ると、本人のやる気だけで勉強を進めていくということがものすごく面白いと感じました。もし、これが資料としてあるものであれば、教育委員の方々にも見ていただきたいと思いました。

吉川教育長

東京都の麹町中学校でそういった授業をしていたかと思います。自分で考えたことを実施するのは自由ですが、宿題などは一切無しにして、学校全体で鈴木委員がおっしゃられたような取組を進めているとのことでした。

実は秋田県の授業スタイルである探究型を、ずっと突き詰めて極端にすればそういうことになろうかと思います。鈴木委員がおっしゃったように、確かに自己有用感を高めるためには、他者との競争よりもまず自分の目標をしっかり持たせることが大切であると思っています。これまでも比較の中で生きて勉強嫌いになってしまったという話を聞いたことがありました。ただ、世の中は自分ばかりではなく、いろんな方々がおりますので、どういった形が一番成長に良いのか考えていきたいと思います。当委員会でも社会を支える人材の育成を目標に掲げておりますので、このような取組は勉強になるものと感じています。

宿題の無い取組をしている学校があることは知っておりましたが、秋田県では１人勉強と言って、自分で何を勉強するか決める、正に自分がやることを自分で決めるということを、何十年も前から実行しております。そして、その効果が国の学力調査の成果に現れているのではないかと思っております。

鈴木委員がおっしゃられた東京での取組資料については、教育指導課及び教育研究所で調べておいてもらいたいと思います。

ほかにございませんか。

（なし）

吉川教育長

なければ、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　６月の定例会の日程についてですが、６月１９日水曜日の午後４時から、ここで開催したいと考えております。御検討をよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　次回の定例会は、６月１９日水曜日の午後４時から、ここで開催ということで、皆様いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。